

日本心臓血管放射線研究会学術研究助成
学会報告記

氏名 後藤 義崇

所属機関名(発表時) 三重大学病院 放射線診断科

発表学会名 ASCI 2013 (口演発表)

学会開催年月日 2013年8月17日～18日

演題名 Transmural Perfusion Ratio Derived from CT-based Absolute Quantification of Myocardial Blood Flow Showed High Diagnostic Performance for Detecting Significant Coronary Artery Disease.

優秀論文賞受賞 有 (Best Young Presenter Award for ASCI-2013 Winner)

学会報告記(800字程度・写真1枚)

締切:2013年11月1日

◇本文

2013年8月17-18日に北京のChina National Convention Centerで開催された、第7回ASCI2013に参加させて頂きました。

私自身はASCIへの参加は初めてでしたが、全体を通してアットホームな雰囲気がとても印象深かったです。この度の私の演題は、「2管球CTを用いた心筋血流定量評価による有意冠動脈狭窄の診断能」でした。今回は、Best Young Presenter Award Sessionで発表する機会を得ることができた上に、発表当日のCongress Banquetにて思い掛けずWinnerとして表彰を受けることができました。

学会中は、各国の著名な先生方による教育講演が多数行われており、Dr. LimaやDr. Bermanの講演をはじめとして、勉強になりました。CTに関しては講演・一般演題ともに心筋血流評価・虚血評価に関するものが多く、現時点での流行を感じることも出来ました。

8月中旬に北京で開かれる学会であったために、出発前はいろいろと心配することもありました。北京の空港に到着した際にはモヤにかすむ月を見てN95マスクを持ってくるべきだったと後悔しましたが、天候にも恵まれ、親切な中国人参加者とも仲良くなることができ、快適に過ごすことが出来ました。北京オリンピックのメイン会場であったBird NestのすぐそばにあったNational Convention Centerの大きさと、整備された町並みに中国の勢いを感じ、美味しい中華料理とWinnerという栄誉も重なり、非常に思い出深い学会となりました。

最後に、学会発表にあたり多くのご指導をいただいた三重大学放射線診断科の先生方と、学会参加費を助成いただいた心臓血管放射線研究会のみなさまに感謝申し上げます。

